

鴨台社事通信

事務局：〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1 社会福祉学専攻内
TEL 03-3918-7311 (内線2431) / FAX 03-5394-3057

ごあいさつ

～大正大学社会事業研究室 90周年を迎えて～

会長 大谷壽雄(新制大学1期生 昭和26年3月卒)

大正大学において戦後文学部社会学科社会事業専攻という名称で新制大学がスタートしたのが昭和24年であります。私は旧制予科から当時主任教授であった長谷川良信先生の門下生となり、卒論は吉田久一先生の下で「渡辺海旭の社会事業の思想」を書きました。当時卒業の方々は鴨台社会事業研究会とあって良く話し合ったことを思い出します。ところで、社会事業の言葉は渡辺海旭先生が言われたとの事です。明治時代の慈善事業の思想から貧困を対象とした社会事業として学問と実践は本学の先生方と学生で先駆的な役割を成し、社会事業の教育の源流となったのです。戦後派社会事業から社会福祉へと変わっても同じ思想による実践が今日に到っています。

大正大学社会事業研究室は大正7年6月に開室され、今年90周年を迎えました。学会は私共が参加していた頃は、大正大学社会事業学内学会、現在は大正大学社会福祉学会と名称を変え、大学の現職の先生方始め退職になった先生方、又卒業されたOBOGの皆様と共に勉学と親睦とを兼ねた会として現在も続いております。

今年は、大学当局もこの90周年を迎え春に記念式典・記念公演等を開催し、秋には明年4月に学科名をアーバン福祉学科をスタートさせる前段階として人間福祉フォーラムを開催しました。卒業生、在校生、又受験を希望する人々の参加によって盛大に行われました。私共社会福祉学会も来年平成21年2月8日(日)第32回を迎え、90周年の記念シンポジウムと萩原康生教授の最終講義等を実施いたします。

「福祉を超えた福祉の時代が始まった」の旗の下に本学の発想が実現されることになりました。アーバン福祉学科をオープンする前に卒業生にはよりいっそうのご理解とご協力をいただく会と致したいと願っています。どうぞ、ご多忙の中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきたく事をご案内して、ご挨拶とさせていただきます。

第32回 大正大学社会福祉学会のご案内

大会テーマ 『アジア諸国における福祉課題』

[日 程] 平成21年2月8日(日) 13:00 受付

[会 場] 大正大学巣鴨校舎1号館2階 大会議室

[プログラム]

13:15～13:45 総 会

14:00～15:00 萩原康生教授最終講義 『アジアの社会福祉』

15:30～16:30 シンポジウム 『アジア諸国における福祉課題』

コーディネーター 野田文隆教授

タイ国立タマサト大学のこども福祉教育・・・ウーティサン・タンチャイ

カンボジアの大正小学校の取り組みから・・・落合 崇志

中国のこども福祉の動向から・・・金 潔

韓国のこども福祉の動向から・・・金 英 燾

17:00～18:30 懇親会 (2号館2階 学生ラウンジにて)

[参加費] 大会参加費 ￥3,000 懇親会費 ￥4,000

[お申込み] 同封の返信ハガキにて平成21年1月12日までにお知らせください。
併せて1月末日までに参加費のお振込みをお願いいたします。

平成21年4月1日から人間学部人間福祉学科社会福祉学専攻は

人間学部アーバン福祉学科に変わります

社会福祉学からアーバン福祉学へ90年そしてつぎの10年にむけてー

学部専攻主任 落合 崇志

大正大学の社会福祉教育も90年の歩みを受け継ぎつつ、これからの「100周年への10年」をあらたな決意ですすめてまいります。この間、多くの先達によって「研究・教育・実践」が展開され、福祉実践における「在野」の一角を担ってきました。そこに積み重ねられた実践力は貴重な財産であり、さらなる蓄積が求められています。

近年、福祉の動向も大きなゆらぎの中にあり、福祉教育も渦中にあり「つぎの10年にむけて」の課題設定が迫られてきました。加えて、「大学淘汰の時代」。福祉の「不易流行」を鑑み、大正大学の発展に「社会福祉教育」をいかに位置づけていくかが問われていることも事実です。そして、21世紀に入った現代は、少子高齢化した欧米諸国が主導するグローバル(global)化の推進によって、地球規模の「生きとし生ける生命」の危機のみならず、ローカル(local)な生活環境の破壊が急速に進んでいます。それらの課題解決に対して学際研究で発展してきた社会福祉学をもってしても解き明かせず、まさに大きな発想の転換を余儀なくされています。

首都東京は、世界的視座で俯瞰しても「都市(アーバン:Urban)」が抱える様々な福祉課題が象徴的に出現しています。その典型的な課題が未来を託す「こども」と、望まれる「まち環境」にかかわる研究と教育です。90年の歴史に裏打ちされた実績を基礎に、新たな研究領域を拓く「こども学」と「まち環境学」を首都東京にある大正大学から世界に向けて発信していきます。

学科名称もアーバン福祉学科とします。アーバン福祉学は、グローバルなソーシャルワークを視野に入れつつ、ローカルなソーシャルワークの課題に切り込み、従来の社会福祉を切り拓く研究と教育の新たな領域です。その中心軸は、仏教福祉思想に拠る揺るぎないソーシャルワーク研究と教育にあることは言うまでもありません。「アーバン福祉はおかしいのでは」との先輩諸氏からのご意見もあります。きっと、90有余年前にも「社会事業はおかしい・・・」と言われていたようです。

今こそ、あらたな一步を踏み出す時と決し、進展させていきます。

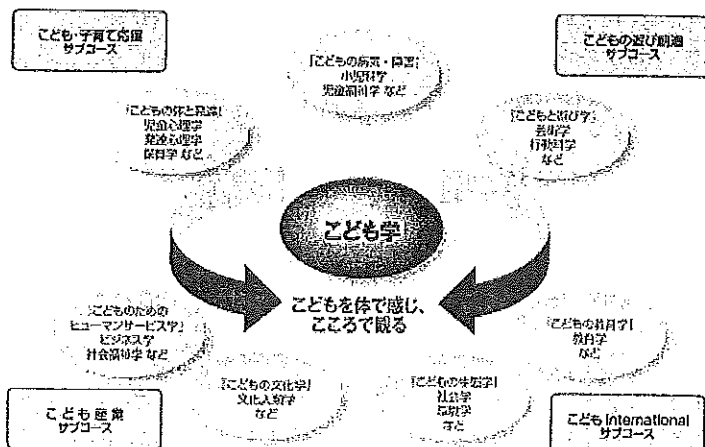
一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。

なお、新学科の各コースについての概要は別途紹介させていただきます

のびのびこどもプロダクトコース・まち環境福祉プロダクトコース・ソーシャルワークコースの3つのコースを設置し、それぞれ魅力いっぱいの授業が展開されます。

のびのびこどもプロダクトコース

「こども」のすべてに
多角的にアプローチ



- ・できるだけ地域や社会に出て、フィールドワークやインターンシップを通してこどものすべてをさまざまな視点からライブに学んでいきます。
- ・公的機関、教育機関、企業とも積極的に連携しタイアップ授業、講師の交流を行い、現場の風をどんどん授業に取り入れます。
- ・こどもに関する福祉分野、保健分野、保育分野、教育分野、ビジネス分野など、あらゆる進路を可能にする基礎知識を習得し、こどもの「プロ」をめざします。
- ・獲得できる資格：

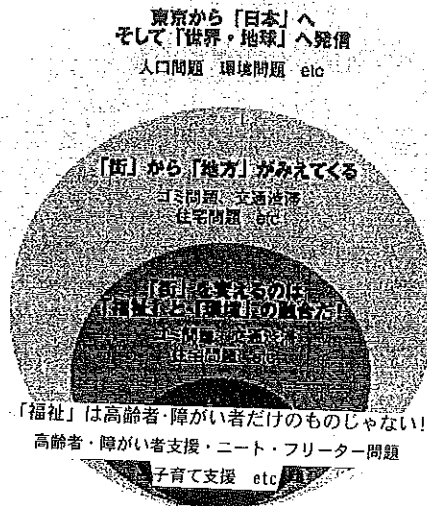
児童指導員 社会福祉主事
保育士試験対策講座

まち環境福祉プロジェクトコース

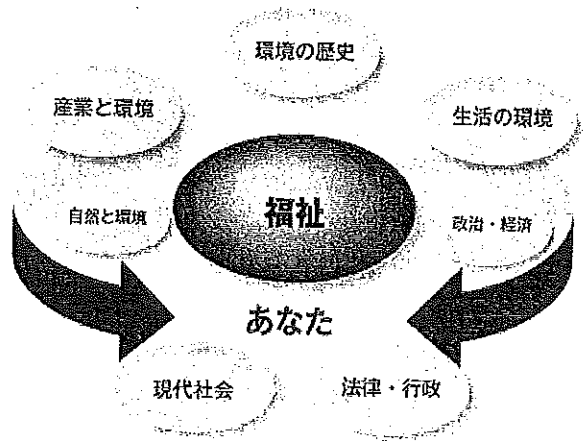
まちから
世界が見えてくる!

- ・地域や社会に出て、インターンシップを通して環境のすべてをさまざまな視点からライブに学んでいきます。
- ・自然豊かな地域での宿泊型フィールドワークも授業として計画されています。
- ・地域、教育機関、企業、NPO・NGO 団体、民間研究者・実践家等積極的に連携をとり、オムニバス形式のライブな授業を取り入れます。
- ・地域、NPO・NGO 団体などの活動にも直接触れることで、将来、行政・各種団体・地域・一般企業等で福祉活動・環境活動を自ら企画・運営・行動できる人材になることができます。
- ・獲得できる資格：

社会福祉主事 社会教育主事 児童指導員

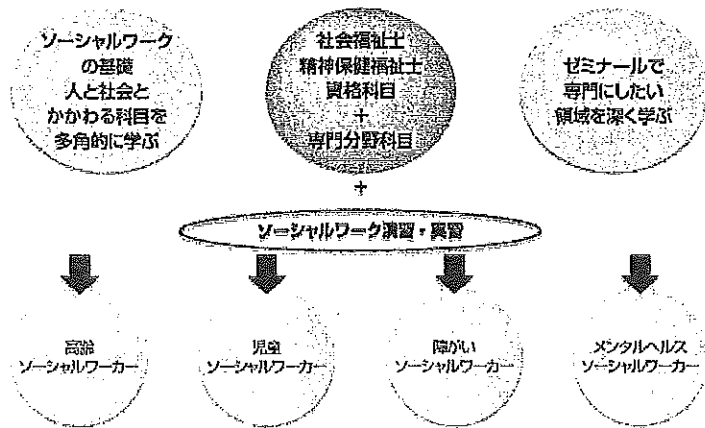


福祉を環境の視点から多角的に学ぶ



ソーシャルワークコース

実践力、即戦力を備えたソーシャルワーカーのプロフェッショナルをめざす



- ・「福祉の現場では大正大学の卒業生と出会う」とよくいわれる、研究室創設 90 年という実績と経験を有している伝統あるコースです。
- ・社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験科目に対応する科目をすべて取り入れています。
- ・高齢者福祉施設、障害者（児）施設、児童福祉施設、病院などでの現場実習に加え、インターンシップも積極的に実施しています。
- ・より高度な専門ソーシャルワークがきわめられる学部・大学院一貫教育を進めています。
- ・年齢・性別・障がい・能力にかかわらず誰でも利用できるという観点で、サービス、流通、建築、メーカーなど一般企業でも活かすことのできる福祉のセンスも習得できます。
- ・獲得できる資格：

社会福祉主事 社会福祉士受験資格
児童指導員 精神保健福祉士受験資格 他

卒業生コラム

◆平山展子さん(H17年度卒業)

大学を卒業して早三年、私は現在、都内にある児童養護施設でケアワーカーとして働いています。児童養護施設とは、虐待や養育困難などの何らかの理由により、家族、親族との生活が不可能である、もしくは分離が必要と判断された子どもが入所している生活施設です。全国的にも児童虐待は増加の一途をたどっていますが、私の勤務する施設においても、入所児の8割以上が何らかの虐待を受けた「被虐待児」です。私たちケアワーカーにとって、そんな子どもたちの背景を受け止め、共感、理解し、信頼関係を構築していくことが第一歩であり、最大の課題でもあります。生活を共にすることの責任の重さは計り知れません。自分自身の何気ない言動が子どもたち一人ひとりの「価値観」や「当たり前」を築いているということを自覚しなければ……と、考えさせられる場面も多々あり、自分自身を省みる日々です。

宿直勤務の身体的、メンタル的な負担は確かに大変なものです。しかし、子どもたちの何気ない言葉に勇気づけられたり、成長を見守り、未来を創造できることの喜びや幸せを感じられることが、私にとって一番の原動力になっています。これからも、ケアワーカーとしての自覚をしっかりと持ち、邁進していきたいと思っています。

今年度でご退職される萩原先生には、在学中、ゼミの担当教授ということで大変お世話になりました。ハンセン病について学びたいと、短大から大正大学に編入した私にとって、長年にわたってハンセン病を研究されてきた先生との出会いは、大袈裟ではなく、人生をも左右するような非常に大きなものでした。また、ゼミでの活動で知り合ったハンセン病回復者の方々との出会いはかけがえのないものであり、今でもその関係を継続できていることを幸福に感じています。ハンセン病回復者の方々には、誠実に生きることの美しさ、本当の優しさが持つ強さを教えていただきました。これからも全ての出会いを大切に、多くの人々に支えられていることや感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

大正大学社会福祉学研究室ホームページ <http://www.ohdai.com>

会員ページ閲覧には個別IDと
パスワードが必要です

個別ID： 卒業生＝この通信をお送りした封筒の宛名ラベル右下に記載の8桁の数字
在学生＝学籍番号の末尾に“0”をつけた8桁の数字

共通パスワード：ohdai（半角英字）

90周年記念事業の一環として、大正大学社会福祉学研究室のホームページを開設いたしました。このホームページを通じて、大正大学社会福祉学専攻を広くPRし、多くの先人たちの想いを若い世代に手渡していくと共に、学会員の皆様に「大正大学社会福祉学研究室の今」を提供したいと思えます。会員専用ページ内には、事務室からのお知らせや、会員の方が自由に書き込める掲示板、職員・ボランティア募集などにご活用いただける募集掲示板などを設置してあります。ぜひご覧下さい。

訃報

先の学長の中村康隆先生が、去る5月8日に享年102歳でご遷化なされました。会員の皆様にお知らせいたしますとともに、先生のご冥福をお祈りいたします。

学会事務局 〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1 大正大学社会福祉学専攻内

TEL 03-3918-7311〔内線2431〕/FAX 03-5394-3057

Mail info@ohdai.com

事務局長：山田亮裕 事務担当：櫻井 淳子（※冬期休業 12月22日～1月8日）